情勢報告（平成２７年８月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

集落営農塾（組織化編Ⅰ）を開催

８月５日、津野町本庁舎にて集落営農塾（組織化編Ⅰ）を開催し、集落代表者など農業者１５人が参加しました。

農業改良普及課は、津野町の農村の現状と集落営農の必要性を説明するとともに、島根県の先進事例や集落営農組織で活用できる施策を紹介しました。

参加者からは、「後継者の確保難しい」「基盤整備したい」「茶の新たな生産体制づくりも必要」などの声が聞かれました。

今後も津野町と連携して集落営農塾を開催するとともに、先進地への視察研修を実施します。

消費者に選ばれる商品とは？～直販所魅力アップ講習会～

７月２２日、中土佐町立文化館にて高南農業改良普及所と合同で、「直販所魅力アップ講習会」を開催し、農産物直販所運営者、生産者、関係機関など２２人が参加しました。

オフィスシンセニアン代表勝本氏に、「品種の選び方や売り方の工夫について」の内容で講演してもらいました。また、加工品の求評会も行い、改善点などアドバイスをいただきました。

参加者からは、「即実践できることが多く勉強になった」「POP の大切さがわかった」など、今後の取組みに意欲的な声が聞かれました。

ＪＡ津野山水稲防除講習会が開催されました

７月３０日、ＪＡ津野山管内の３カ所で水稲防除講習会が開催され、のべ２３人が参加しました。

農業改良普及課は、対象地域において収量減の大きな要因となる「稲こうじ病」と「いもち病」の防除の必要性と、防除時期の目安となる幼穂の確認方法について指導しました。ＪＡや全農こうちからは薬剤を紹介していただきました。

参加者からは、薬剤の具体的な処理方法について質問があり、防除のポイントについて理解が深まりました。

ＪＡ土佐くろしおサヤインゲン決算総会の開催

７月２８日、ＪＡ土佐くろしお販売課で、平成２７園芸年度サヤインゲン部会決算総会が開催され、２３名が参加しました。

農業改良普及課は、天敵（クロヒョウタンカスミカメとスワルスキーカブリダニ）を用いた実証ほの結果を報告しました。

春先のハダニ対策が課題になっており、次年度も引き続き放飼時期や放飼回数を変えた実証を行い、ほ場内での天敵の定着に重点を置いた利用技術の改良を行います。

ＪＡ土佐くろしお花卉部会決算総会の開催

７月３１日、ＪＡ土佐くろしお販売課で、平成２７園芸年度花卉部会決算総会が開催され、２５名が参加しました。

園芸連より市場状況について説明があり、ＪＡからは、今年度の販売会議や消費宣伝活動の説明及び目慣らしや視察の計画について確認を行いました。花卉部会では平成２７年１１月に香川県で開催される「四国の花」展示商談会への出展を予定しています。

農業改良普及課は、平成２８年１月に東京で開催される商談会の説明と、環境制御導入加速化事業の概要及びハウス内環境の見える化への取り組みについて提案を行いました。

今後、商談会出展への支援、環境制御技術の普及を推進していきます。

ＪＡ土佐くろしおハウスシシトウ決算総会の開催

８月３日、ＪＡ土佐くろしお販売課で、シシトウ部会のハウスシシトウ決算総会が開催され、３４名が参加しました。

農業改良普及課は、環境制御技術導入の成果と有用性、土着天敵（クロヒョウタンカスミカメ）の防除効果と雨よけシシトウとの産地内需給について説明しました。

生産者は、炭酸ガス施用効果やクロヒョウタンカスミカメの利用について、関心を示しつつあります。

今後も収量向上のため、環境制御技術の導入促進や土着天敵の温存植物を使った定着率の向上をはかっていきます。

第２回　ＪＡ土佐くろしおミョウガ腐敗防止対策プロジェクト会

８月１３日、ＪＡ土佐くろしお営農資材センターふれあいにおいて、農業技術センター、専技と連携し、今年度２回目のプロジェクト会を開催しました。

ＪＡ及び農業改良普及課から、市場調査結果や管内の腐敗発生状況を報告した後、今年度計画している腐敗対策について途中経過や取組内容の確認を行いました。

今年の市場での腐敗事故は、昨年、一昨年と比較すると少なく、昨年からの取り組みの成果が現れていると思われます。

今後も発生状況調査を行い、情報共有し、事故防止に対する取り組みを支援していきます。